

## 議事 2. 平成21年度事業報告、収支決算および財産目録について

### 平成 21 年度 事業 報告 書

#### I 事業の状況

##### I. 公益事業

###### 1. 学術講演会の開催（定款第4条第1号）

第105回日本精神神経学会総会として、前田潔会長、守田嘉男副会長のもとに、平成21年5月22日、23日、24日の3日間の開催を予定したが、神戸での新型インフルエンザ発生に伴い開催の延期をした。改めて同年8月21日、22日、23日の3日間、ポートピアホテル（神戸市中央区港島中町6-10-1）・神戸国際会議場（神戸市中央区港島中町6-9-1）・神戸商工会議所・クオリティホテル神戸（神戸市中央区港島中町6-1）において、基本テーマ：「わが国精神医学のめざす地平、坂の上の雲」の基に会長講演、特別講演2題、シンポジウム29題、教育講演50題、精神医学研修コース12題、先達に聴く3題、精神医学・医療奨励賞受賞講演各1題、専門医を目指す人の特別講座9題、関連学会からの報告39題、市民公開講座2題、一般演題277題（口演・ポスターを含む）の計426演題の学術講演会を開催し、活発な発表・討論がなされた。

###### 2. 機関誌および学術図書の刊行（定款第4条第2号）

(1) 「和文誌－精神神経学雑誌」の第111巻第4号（平成21年4月）より第112巻第3号（平成22年3月）まで月刊で12号分、延べ1,425ページを印刷刊行した。ホームページをリニューアルし電子媒体による提供の拡充を図った。

（発行部数：第111-4号14,400部、第111-5号～7号14,450部、第111-8号・9号14,550部、第111-10・11号14,600部、第111-12号14,650部、第112-1号～3号14,700部）

(2) 「英文誌－Psychiatry and Clinical Neurosciences」のVolume63の6号分777ページを刊行した。引用件数を示すインパクトファクターが、1.394（2009年6月発表）となった。（発表部数：各号600部）

###### 3. その他目的を達成するために必要な事業（定款第4条第3号）

(1) 下記各種委員会を設置し、所管の事項の審議およびそれにもとづいた研究・調査等の活動を行った。

###### 1) 学術・教育部門

・学術部会

① ガイドライン委員会

② ICD-11委員会

③ 精神科用語検討委員会

④ 「精神医学奨励賞・精神医療奨励賞」選考委員会

⑤ 「フォリア賞」選考委員会

・教育部会

⑥卒前教育委員会

⑦卒後教育委員会

⑧児童精神科医育成に関する委員会

⑨精神神経学雑誌編集委員会

⑩Psychiatry and Clinical Neurosciences (PCN) 編集委員会

2) 精神科専門医部門

・専門医制度部会

⑪常任委員会

⑫卒後研修委員会

⑬試験委員会

⑭資格・研修施設認定委員会

⑮生涯教育委員会

⑯地区部会長委員会

⑰専門医制度点検・評価委員会

3) 精神保健・医療・福祉部門

・精神保健・医療・福祉システム部会

⑱精神保健・医療・福祉システム委員会

⑲精神保健に関する委員会

⑳診療報酬問題委員会

㉑精神科医・精神科医療の実態把握・将来計画に関する委員会

㉒精神科医療政策に関する委員会

㉓心理技術職の国家資格化に関する委員会

㉔アンチスティグマ委員会

㉕ECT検討委員会

㉖他職種との連携を考える委員会

㉗性同一性障害に関する委員会

・薬事部会

㉘薬事委員会

4) 法・倫理部門

・法関連部会

㉙法委員会

㉚医事関係訴訟委員会

・倫理部会

㉛医療倫理委員会

⑫研究倫理委員会

5) 国際部門

⑬国際委員会

6) 渉外部門

⑭他学会及び他団体との連携に関する委員会

⑮広報委員会

7) 庶務部門

⑯学会諸規則検討委員会

⑰学会のあり方に関する検討委員会

⑱評議員選挙管理委員会

⑲各種委員会活動評価委員会

⑳学会出版局

㉑利益相反委員会

(2) 国際組織〔世界精神医学会（WPA）その他〕との連絡および国際学術交流に関する事業

第105回総会の特別講演の演者として Ho Young Lee 先生を招聘した。アジア各国から若手精神科医 11 名を招聘し、国際シンポジウムを行った。

(3) 情報に関する事業

1). インターネット・ホームページ (<http://www.jspn.or.jp>) のリニューアル、掲載内容の変更・更新等の作業を行い、情報の提供を行った。

2). 雑誌の電子媒体での提供の拡充を図った。

(4) 「精神医学・医療奨励賞」および「フォリア賞」の受賞

1). ○精神医学奨励賞

受賞者 : 小林啓之 会員

受賞対象業績 : The effects of aripiprazole on insight and subjective experience in individuals with an at-risk mental state.  
The Journal of Clinical Psychopharmacology, 29(5);  
421-425, 2009

○精神医療奨励賞

受賞団体 : 長野敏宏 (代表会員) 「南宇和郡における地域住民ネットワーク活動」

受賞対象業績 : 南宇和郡における地域住民ネットワーク活動は、交通過疎地である愛媛県の高知県境、南宇和郡愛南町で、正光会御荘病院を中心に行われている活動です。

昭和 37 年に単科精神病院である正光会御荘病院から始まった愛南町の精神保健福祉医療は、社会復帰施設の開設、家族会の立ち上げを経て、平成元年には精神障害者の社会復帰を考える会となり、後に NPO 法人ハート in ハートなんぐん市場（なんぐんとは南宇和郡をさす）へと発展していきました。ここでは、地域の住民ネットワークと密接に関連した精神障害者の社会復帰事業が行われています。代表の御荘病院長長野敏宏院長は、この活動に初期研修終了後の 12 年前から関わり、積極的に支えてきました。

2). フォリア賞

○平成 20 年度

受賞者 : Sakae Takahashi, MD, PhD

受賞対象論文 : Impairment of exploratory eye movement in schizophrenia patients and their siblings  
Psychiatry and Clinical Neurosciences, 62(5);487-493, 2008

○平成 21 年度

受賞者 : Atsushi Nishida, PhD

受賞対象論文 : Risk of developing schizophrenia among Japanese high-risk offspring of affected parent: outcome of a twenty-four-year follow up  
Psychiatry and Clinical Neurosciences, 63(1);88-93, 2009

(5) 専門医制度に関する事業

- 1). 専門医制度委員会内の各種委員会において各担当事項について検討した。
- 2). 平成 21 年 7 月 25 日・26 日の両日に「精神科専門医認定試験（第 8 回過渡的措置）」を行った。
- 3). 第 105 回総会時の平成 21 年 8 月 20 日に「第 4 回生涯教育研修会」および 8 月 23 日に「指導医講習会（I、II）」を開催した。
- 4). 平成 22 年 1 月 23 日・24 日の両日に「第 1 回精神科専門医認定試験（新規試験）」を行った。
- 5). 「研修施設」および「指導医」の認定申請の募集（随時）をし、審査を行った。
- 6). 研修手帳にもとづく、専門医研修申請受付を行った。
- 7). 専門医認定試験合格者の更新のためのポイント管理等を行った。

II. 収益事業

1. 出版事業（定款 4 条第 2 号の一部）

「日本精神神経学会百年史」の販売と「WPA コンセンサス・ステートメント 第二世代抗精神病薬」の販売を引き続き行った。